パイプラインは敵の弱点。二期粉砕・廃港へ！
8・8集会大成功　新たな出発点へ

三里塚芝山連合空港反対同盟と動労千葉が主催する「8・8パイプライン供用開始粉砕、二期阻止・空港廃港総決起集会」は、ギラギラ照りつける赤熱の炎天下、千葉市みなと公園に、二四一三人の結集をもってかちとられた。

定刻十時には、広い会場は埋まり、参加団体がそれぞれの独自集会、「空港粉砕・二期阻止！」のマイクがガンガンと周りを圧する。千葉駅より歩いて約二〇分、千葉港岸壁からほど遠くない「みなと公園」は、駅、沿道、公園周辺を真黒になるほどの完全武装の機動隊約五千人が異様なまでの警備。会場のすぐ近くにあるパイプラインの輸送拠点は、高い防壁と三重の鉄条網、放水車・特殊化学消防車に五千の機動隊でガチガチに武装して、なお「ゲリラをおそれて、公団関係者数十人の内輪だけで、時間も公表しないまま、三五分間の形ばかりの式典をそそくさと」とり行い、「十二年の曲折を経た〝総決算〟の日にしては異様なふん囲気に包まれた式典」（千葉日報）をこそこそと行い、逃げるように解散。

この日の闘いは、パイプライン供用開始＝二期着工攻撃の反人民性と破綻性を鮮明につき出したのである。

パイプラインは敵の弱点。必ず廃港に追いこむ。―空港反対同盟―

集会は、全国各地の代表団の到着をまって、11時より、反対同盟事務局次長・萩原勇一氏と動労千葉教宣部長・片岡一博氏の司会によって開始された。

「二期を阻止し、パイプラインを粉砕し、必ず廃港に追いこむ。今さら〝話し合い〟など問題にならない。実力をもって阻止する。本日の集会は勝利への確信を示している」との島村良助氏（本部役員）の開会宣言に続いて、動労千葉・関川宰委員長と反対同盟本部役員・小川嘉吉氏よりそれぞれ「ジェットのハンドル＝空港のアキレス腱を握って五年間、労農連帯・空港反対を貫き通してきた。廃港こそわが闘いの到達点。更に闘いを強化しよう」、「閣議決定とその一方的反古―廃港に追いこむ。今さら〝話し合い〟など問題にならない。実力をもって阻止する。本日の集会は勝利への確信を示している」との島村良助氏（本部役員）の開会宣言に続いて、動労千葉・関川宰委員長と反対同盟本部役員・小川嘉吉氏よりそれぞれ「ジェットのハンドル＝空港のアキレス腱を握って五年間、労農連帯・空港反対を貫き通してきた。廃港こそわが闘いの到達点。更に闘いを強化しよう」、「閣議決定とその一方的反古―動労千葉処分。十一年間も全ゆる反対闘争にさらされてきた上での今日のパイプライン〝輸送〟は、二期への保障どころか、弱点の表われ。収用法を粉砕し廃港に追いこもう」との主催者代表挨拶をうけた。

北原事務局長より基調報告をうけた。基調は「パイプであれ貨車であれ、空港への燃料、危険な輸送には絶対反対。二期強行への攻撃は実力で粉砕する。反戦・反核の闘いと結合して軍事空港廃港まで闘う。成田用水クイ打ちに協力し、土地切り売りの〝一坪〟派の裏切りを粉砕して、10・9三里塚現地に大結集しよう」と、勝利への鮮明な決意と方針を明らかにした。

ジェット闘争五年間の成果をふまえ、新たな飛躍と出発へ。―動労千葉―

続々とつめかける参加者は、二四一三人に達し、炎天下にめげず、集会は熱気のうちに勝ちとられた。決意表明には、動労千葉を代表して吉岡組織部長、日暮成田支部長、田中青年部長が立ち「ジェット闘争五年間の苦闘・成果・教訓・誇りを握りしめ、廃港への闘いへと新たな出発を勝ちとる」決意を表明し、満場の拍手がこれを包んだ。

反対同盟を代表して、平山行動隊長、郡司婦人行動隊長、宮本青行隊員、敷地内＝市東さん、加藤喜平さん、加藤俊宣さん、辺田の瓜生さんが鮮明な決意をのべ、公団のヘリによる牧草種散布への抗議文が鈴木幸司・本部役員より提起された。

このあと、多くの団体からの連帯のアピール（次号紹介）と決意表明がなされ、関執行委員のカンパアピール、山口副委員長のスローガン採択、林執行委員の行動提起、反対同盟・木内氏の集会宣言を経て、最後に水野副委員長の閉会宣言とガンバローの大歓声をもって、千葉市街デモに出発。不当逮捕攻撃をものともせず、千葉市中央公園までの戦闘的デモを貫徹し、10・9総決起を誓い合って、勝利的に闘いを終えた。

日刊動労千葉
83. 8. 10
No. 1413
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一―八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七